

口腔腫瘍外科学講座

講座名	口腔腫瘍外科学講座	
主任教授	野村武史	
プログラム責任者名	野村武史	
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本口腔外科学会認定医・専門医 他	
プログラムの特色		
<p>口腔腫瘍外科学講座は、総合病院の中にある唯一の口腔外科系講座であり、3つの特徴を有している。それは①多職種連携、チーム医療を通じた全身疾患と歯科疾患の関係について、②口腔粘膜疾患を中心とする口腔内科的治療について、そして③口腔がんセンターを通じて、口腔腫瘍に関する専門性の高い臨床、研究を行っていることである。総合病院ならではのあらゆる疾患に対応可能なマネージメント能力、周術期管理、高度口腔外科手術手技に関する、知識、技能、態度を修得できる。</p>		
プログラムの内容		
入局後	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療補助を行いながら口腔外科疾患の概要を学ぶ ・病棟担当医として患者管理の基本を学ぶ ・全身麻酔症例には第2助手として参加する。 ・抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する 	<p>【当院で卒後臨床研修を修了した者】</p> <p>後期臨床研修を受けることができる。後期研修は歯科・口腔外科の研修以外に、基本的な医学知識を身に付けるために院内医科研修を選択することができる。4か月1単位として最大3科の研修を受けることができる。</p> <p>【他院で卒後臨床研修を修了した者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記大学院生と同内容のプログラムを学ぶ。 ・医科研修は2年目に選択することができる。
2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが与えられ、研究がスタートする。指導医とともに研究計画を立案し論文作成の基礎を学ぶ。 ・がんプロフェッショナル養成基盤推進プランを選択した大学院生は、臨床コースワークを履行しながら研究計画を立案する。 ・大学院ミーティング／抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが与えられ、研究がスタートする。指導医とともに研究計画を立案し論文作成の基礎を学ぶ。 ・がんプロフェッショナル養成基盤推進プランを選択した大学院生は、臨床コースワークを履行しながら研究計画を立案する。 ・大学院ミーティング／抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。

口腔腫瘍外科学講座

3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・前年に引き続き研究を推進する。 ・大学院ミーティング／抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 ・日本口腔外科学会認定医を取得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導医とともに外来診療を行う。 ・病棟担当医(希望により口腔がんセンター研修が可能)として患者管理を行う。 ・全身麻酔下の手術症例に助手として参加する。 ・抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 ・日本口腔外科学会認定医を取得する。 <p>※希望者は関連病院へ出向することができる。</p>
4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・研究課題をまとめ、学位取得に向けた論文を作成する。 ・指導医の指導のもと、論文投稿に向けて実験結果をまとめる。 ・論文作成完了、本学の規定に従った論文審査修了とともに、臨床業務に従事し、引き続き臨床知識、技能の修得に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な外来診療を単独で担当する。 ・日本口腔外科学会手術難易度レベルⅠ・Ⅱの手術を行う。 ・病棟担当医(希望により口腔がんセンター配置)として患者管理、後輩の指導を行う。 ・抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 ・臨床論文を作成する。 <p>※希望者は関連病院へ出向することができる。</p>
5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療を一人で担当する ・(公社)日本口腔外科学会の定める手術難易度レベルⅠ・Ⅱの手術を行う。 ・病棟担当医として患者管理、後輩の指導を行う。 ・抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 ・口腔外科学会専門医受験資格取得のため麻酔科研修を行う。 <p>※希望者は関連病院へ出向することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療を一人で担当する ・(公社)日本口腔外科学会の定める手術難易度レベルⅠ・Ⅱの手術を行う。 ・病棟担当医として患者管理、後輩の指導を行う。 ・抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 ・口腔外科学会専門医受験資格取得のため麻酔科研修を行う。 <p>※希望者は関連病院へ出向することができる。</p>
6年目以降	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療を行う。併せて後輩の指導も行う。 ・日本口腔外科学会手術難易度レベルⅡ・Ⅲの手術を行う。 ・病棟チーフとして患者管理、後輩の指導を行う。 ・抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 ・(公社)日本口腔外科学会専門医を取得する。 <p>※希望者は関連病院に勤務することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療を行う。併せて後輩の指導も行う。 ・日本口腔外科学会手術難易度レベルⅡ・Ⅲの手術を行う。 ・病棟チーフとして患者管理、後輩の指導を行う。 ・抄読会／勉強会／症例検討会／学会等に参加・発表する。 ・(公社)日本口腔外科学会専門医を取得する。 <p>※希望者は関連病院に勤務することができる。</p>

口腔腫瘍外科学講座

- 本務教員で認定医等の有資格者
(指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載)

日本口腔外科学会	指導医:野村武史 専門医:栗原絹江、鈴木大貴 認定医:齋藤寛一、井口直彦
日本口腔科学会	指導医:野村武史
日本口腔内科学会	指導医:野村武史 専門医:鈴木大貴
日本口腔診断学会	認定医:鈴木大貴
日本がん治療認定医機構	暫定教育医:野村武史 がん治療認定医:野村武史、栗原絹枝、鈴木大貴
日本口腔腫瘍学会	暫定口腔がん指導医:野村武史 口腔がん治療認定医:野村武史
日本口腔顎顔面痛学会	指導医:野村武史